

緑のセンターだより

No.257 令和2年8月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

エゾニュウ

セリ科 シシウド属 *Angelica ursina*

エゾニュウはセリ科に属し、草丈が3mにもなる巨大な多年生草本です。茎は中空で、太いものは直径が10cm近くにもなります。葉は大型の2回3出羽状複葉で細く尖っていて、葉柄基部は大きく膨らんだ肉質の鞘となります。花はセリ科に多く見られるように、1本の長い花茎の先からさらに短い花茎を多数伸ばしてその先に小さな花を無数につけます。その長い花茎が放射線状に拡がって、全体の大きさが30cmを超える大きな花（複散形花序）を8月のお盆頃に開花させます。



また、この植物は、オオウバユリと同じように花をつけずに数年間成長し、最後に開花結実して枯れるもので、一稔性植物若しくは一回結実性植物と言われます。

エゾニュウの生息地は、本州の中北部と北海道で、国外では千島、サハリン、カムチャッカ半島にまで分布しているようです。生育環境は海岸の草地から山地まで生えています。広々とした草原の中に異様に大きく、によきと飛び出した草姿を写真などで見かけますが、私が初めてエゾニュウを見たのは北海道大学の植物園で、人の背丈をはるかに超えた先に大きな白い花をつけている姿に驚いたことを憶えています。



北海道で見られるセリ科でエゾニュウとよく似た姿の大形草本には、エゾヨロイグサ（草丈1～2m）、エゾノシシウド（1～1.5m）、オオサカモチ（約1.5m）、オオハナウド（1.5～2m）などがありますが、エゾニュウは存在感があり、その大きさは飛びぬけています。

左の写真は、札幌市南区真駒内柏丘の国道453号沿いの斜面に生えていたエゾニュウです。その姿は他の植物を圧倒するように葉を広げ、花を大きく咲かせています。

エゾニュウは、若い太い茎の部分を山菜として利用しますが、強烈な臭いとアクが非常に強いため、採ってすぐには食べられません。

あく抜き・塩漬けをして保管していたものを塩抜きしてから煮物や炒め物、汁物などに使います。



8月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日 ※当面は電話相談のみ
(月祝日の場合は受付、翌平日に休み)

★百合が原公園 772-3511 ※緑の相談は当面中止

★平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土 ※当面は電話相談のみ

		作業時期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木	病害虫防除			オンコのカイガラムシ、ナガチャコガネの駆除
		整枝・剪定			イチイ、マツ類、カエデ類の整枝剪定（枝透かし）、生垣の刈り込み。
	花木	芯止め剪定・芽かき			フジの芯止め。ボタンは上旬までに芽かきをして伸長を抑制する。
		病害虫防除			ツツジ、シャクナゲ、その他花木類の病害虫防除
	果樹	徒長枝の整理			リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、プルーン、プラムなど。
		除袋			モモ（完熟の10～15日前）の収穫期に合わせた除袋。リンゴ、ナシは9月
	野菜	根・葉菜類の播種			秋ダイコン、ホウレンソウ、コマツナ、タカナ、カラシナなどの播種
		植付け・収穫			ラッキョ植付け（8月中旬～9月上旬）、イチゴ植付け（8月下旬）、ハナミョウカ収穫
	花壇	定植、摘芯、病害虫防除			中旬までにハクサイの定植。果菜類の整枝、誘引、摘芯、病害虫防除
		切り戻し・追肥			草花類の花がら摘み、切り戻し、追肥
室内園芸	鉢花	株分け・植付け			ハナショウブ株分け・植付け（上旬）、コルチカム類他夏植え球根植付け（中～下旬）
		日常管理			エアレーション、目土入れ、施肥、刈込み。降雨の少ない時は灌水
	洋ラン	病害虫防除			立枯れ病（ブラウンパッチ）発生予防のため、殺菌剤の散布
		遮光			戸外管理の直射日光に注意（50～60%遮光）
	多肉植物	施肥・灌水			高温期の施肥・灌水に注意。普通鉢のシクラメン植替え。
		植替え			カトレア類の新芽が出たもの、花後のコチョウランの植替え、株分け。
	観葉植物	病害虫防除・管理			カイガラムシなどの病害虫防除。施肥・灌水は高温時には控える。
		開花促進			クラッスラ（花月）などの夏生育型の施肥・灌水を控える。
	観葉植物	施肥・灌水			冬生育型は休眠期なので、灌水・施肥を極力控える。
		灌水			鉢全体の重さを確認し、たっぷり灌水
	観葉植物	施肥			置き肥による施肥は月1回が目安。液肥は10日に1回
		遮光			置き場所に注意し、葉焼けを防ぐ。
		整枝・増殖			切り戻しによる整枝。取り木、挿し木による増殖
		病害虫防除			ハダニ、コナジラミ、カイガラムシなど（初期の発見、処理が大事）

園芸 Q&A

Q テンドロビウムを育てていますが、茎の途中から芽が出て、根もどんどん伸びてきました。このまま育て続けて良いのでしょうか？（北区 KKさん）

A 茎の途中から伸びる芽は「高芽」と呼び、春から夏にかけて多く発生します。窒素肥料が多いと、冬に咲くはずだった花芽が葉芽になってしまい、茎（バルブ）の途中から伸びだします。高芽は親株の生育に影響しますので、ある程度の大きさになったら切り離し、親株とは別に育てましょう。8月が高芽取りの適期になります。

＜高芽取りの方法＞

- ①. 高芽から根が 4～5cm 出たら、親株から切り取ります。大きい高芽は手で簡単に取ることができますので、優しく切り離しましょう。
- ②. 根を水に浸し柔らかくしてから、2.5 号～3 号の小さな素焼き鉢に、しっかり水で戻した水苔で植え付けます。



手で優しくとる



素焼き鉢に水苔で
植え付ける

展示会・開花情報（2020年8月～9月）



百合が原公園

〒002-8082

北区百合が原公園 210

TEL. 011-772-3511

JR 学園都市線

「百合が原」駅下車

徒歩7～10分



カサブランカ

盛夏の頃

百合が原公園を彩ってきたユリが後半戦の時期を迎えました。純白の大輪を咲かせるユリの女王カサブランカやキカノコユリの黄花変種のキバナキカノコユリなど、ユリの季節を締めくくるにふさわしいユリ達をご覧ください。また、リリートレイン沿線の「ムクゲコレクション」では、約35品種もの花色が豊富なムクゲが楽しめます。盛夏を彩るユリやムクゲを、ぜひ百合が原公園でお楽しみください。

「展示会情報」

- ・貴婦人のイヤリング展～多彩な花色と花形のフクシアコレクション～ **中止**
- ・札幌軟石と植物展～繊細なコケを観る暮らし～ **中止**

「観覧会情報」

- ・お散歩ガイド— **中止**



ラベンダーシフォン



ブルーサテン



豊平公園

〒062-0905

豊平区豊平5条 13 丁目

TEL. 011-811-6568

地下鉄東豊線

「豊平公園」駅下車

1 番出口徒歩 1 分

南国のアトリウム

緑のセンターアトリウムでは様々な品種のハイビスカスが見頃です。2階の温室では南国の植物が、ルーフガーデンでは宿根草がぐんぐん成長しています。園内散策の際には是非お立ち寄りください。



ルーフガーデン



平岡樹芸センター

（みどりーむ）

〒004-0874

清田区平岡4条3丁目

TEL. 011-883-2891

地下鉄東西線

「大谷地駅」から

中央バス(大 69)

→「平岡4条2丁目」下車

徒歩1分

夏の庭園の見どころ

8月～9月上旬にかけてはミナツキ、ネムノキ、ムクゲ、ミヤギノハギが花を咲かせ見頃を迎えます。

また、園内では秋に向けて西洋庭園のオニコのトピアリーを始め、チョウセンヒメツゲ、ドウダンツツジなどが美しく刈り込まれていきます。

ぜひ併せてご覧ください。



ミナツキ



ネムノキ



西洋庭園

イベント情報（8～9月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【あけび工房講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
山形産あけび～アナベルのバスケット～	8月26日(水)	10:00～	3,300円	15名	8/12(水)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【無料ガイド】	開催日	時間	参加費	申込開始
お散歩ガイド 中止	8月22日、29日(土)	13:00～	無料	中止



平岡樹芸センター（みどりーむ）

☎ (011) 883-2891

<https://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

【園芸、庭作り教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
オンコの整枝・剪定 1日実践コース	8月2日(日)	10:00～15:00	1000円	20名	申込受付中

※今後の情勢によっては、予定が変更となる場合があります。

豊平公園



あけび工房講習会

平岡樹芸センター



オンコの整枝・剪定

講習会・イベントの中止について

新型コロナウイルスの影響により、豊平公園で開催を予定していた講習会やイベントを一部中止しています。

お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承ください。